



府中街道から通り庭を見る

「はなれ」からお祭りの風景を見る

神社からケヤキ越しに庁舎を見る

庁舎建設 ふちゅう かわら版

第9号



Q市読み取れる
Rのホムコ
Mの庁舎ム
ドを
にべし
なれが建
ますご設

新庁舎建設の設計者が決まりました

平成27年7月に行った府中市新庁舎建設設計者選定委員会の審査の結果、新庁舎建設の設計者が千葉学建築計画事務所・久米設計 設計共同体に決まりました。
 今後は、平成29年10月まで設計作業を行い、「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」を目指して取り組んでいきます。

設計者の提案内容(プロポーザル時のもので、設計を進めるなかで変更となる可能性があります)

■「おもや」と「はなれ」と「通り庭」で構成される新庁舎は、かつての宿場町を彷彿とさせる

新庁舎は、庁舎の主たる機能を担う「おもや」、庁舎機能を補完し市民活動を支える「はなれ」、けやき並木を延長する「なみき」で構成され、庁舎としての機能性を十分発揮しながらも市民に開かれ、自然と一体になった庁舎です。駐車場は敷地全体の地下を活用し、食堂ははなれの東側1階に配置する計画としています。

おもやはなれの間の通り庭は、市民に開かれた広場や路地となり、府中らしい多彩な活動が繰り広げられます。テラスや軒下空間の連なる様は、格子戸や看板、店先の連なる宿場町のようで、かつての府中宿を彷彿とさせます。

■仮設庁舎のいらない合理的な建替計画

工事は2期で計画し、1期工事では北側住宅地に配慮しつつ最大限の面積を確保し、基本的な庁舎機能を全て備える計画とします。

1期工事完了後に既存庁舎を解体し、2期工事に着手します。2期工事完了後に第二庁舎機能や図書館機能などを移して完了します。



新庁舎の配置(左側が府中街道)



新庁舎の建替計画(灰色部は既存庁舎)

府中市新庁舎建設シンポジウムを開催しました

10月11日(日)にルミエール府中でシンポジウムを開催しました。設計者の上田克行氏や千葉学氏、設計者を選定した選定委員会委員長の倉田直道氏、高野市長が新庁舎建設に懸ける想いを述べました。また、パネルディスカッションでは、選定委員会副委員長の田中友章氏がファシリテーターを務め、当日来場した市民のご意見を織り交ぜながら議論が行われました。

設計者の千葉氏は、「用事がなくても行ってみたいくなる庁舎、そこに行けば府中の魅力を感じ取ることができる場所、行政と市民が一体となって街をつくっていく姿勢を表明する21世紀型の新しい庁舎、世界に誇れる庁舎を目指します」と抱負を話しました。

また、高野市長は、「新庁舎に多くの市民が集い、憩いの場や情報交換の場、賑わいの場としての新たな創出を行うことで、庁舎や街への愛着につながっていくと考えている」と新庁舎に寄せる期待を話しました。



会場の様子



パネルディスカッションの様子

新庁舎建設キャラバン隊で市内のイベントでPRを行っています

8月から市内で開催されるイベントにブースを出展し、新庁舎建設の必要性や設計者の提案内容などについて周知を行っています。これまで、けやきフェスタ、生涯学習フェスティバル、府中マルシェ、福祉まつり、リサイクルフェスタに参加し、1,000名を超える方々と対話を行うなかで、多くのご意見をいただきました。

ご意見のなかには、新庁舎建設に対する事業費や新国立競技場の問題などに関して心配する声もありましたが、新庁舎の完成を期待するご意見が数多くありました。



キャラバン隊の様子

今後も、新庁舎建設の設計の進捗状況などについて、このかわら版でお伝えします。
 また、市のホームページにおいても、庁舎建設に関する情報を随時更新しますので、ご覧ください。(本紙上のQRコードからもご覧になれます)。
■市ホームページのアドレス <http://www.city.fuchu.tokyo.jp>

<お問い合わせ>
 府中市 政策総務部 政策課 庁舎建設担当
 TEL 042-335-4129(内線3483)
 FAX 042-366-7752
 E-mail chousuya01@city.fuchu.tokyo.jp

府中スコット・クラブ
ふちっこま